

2011年度 日本包装コンサルタント協会関西支部 定例セミナー

セミナー参加費：年間一人5万円

会場：神戸市勤労会館

神戸市中央区雲井通5丁目1-2(JR三宮駅東南5分)、TEL:078-232-1881

申込み：日本包装コンサルタント協会関西支部

TEL:079-492-6180、FAX:079-492-6184、E-mail:jpca@pds-net.co.jp

日 程		テーマ・タイトル*1	講 師	講 義 内 容*2
月 日	時 間			
23.3.8(火)		テーマ：包装と材料		マテハン設備の仕様決定は搬送される商品の梱包特性を知ることが全ての始まりです。各種包装材料の基礎知識を学びます。
	9.30~10.50	①<段ボール包装と物流>	山崎 潔	包装材料として最も多く使用されている段ボールの、包装機能・特徴などの基礎知識や、包装設計に関わる技法を解説し、包装強度やコスト計算など設計実務に役立つ技術を講義・演習してゆきます。
	11.00~12.20	②<フィルムと包装>	真多博志	袋・容器などに使用されるプラスチックは、素材・形態なども多様で、その特性・機能・用途も多岐にわたる。それらの包装適性・加工技術などの特徴から、包装機械への適用を解説する。
	13.30~14.50	③<緩衝材と包装>	寺岸義春	包装容器内には製品の固定・保護のため緩衝材が多く使用されています。その種類・性能・使用(設計)方法を講義します。
	15.00~15.30	講師との意見交換	出席講師	参加者の問題提起を受けた意見交換
	15.40~16.40	協会定例会		自由参加
23.6.7(火)		テーマ：インターパック2011報告会		世界最大の包装展から最新の包装・物流に関する知見を紹介します。
	9.30~10.50	④<総括報告>	太田 茂	世界最大の包装展を視察し、最新の包装技術・技術動向などを機械を中心に総括・解説する。
	11.00~12.20	⑤<包装材料・容器関係>	山崎 潔	包装展の出品物から、CO ₂ 排出など地球環境などが大きな社会問題となっている現状に対し、包装材料の在り方、将来展望を模索する。
	13.30~14.50	⑥<包装設備と関連機材>	未定	先端をゆく食品包装について、包装ライン・機械設備など世界のトップ企業の戦略を解説する。
	15.00~15.30	講師との意見交換	出席講師	参加者の問題提起を受けた意見交換
	15.40~16.40	協会定例会		自由参加
23.9.6(火)		テーマ：包装と機械		生産・包装ラインに設備される包装機械・マテハン機器を学びます。
	9.30~10.50	⑦<包装ラインと包装機械>	野上良亮	包装ラインに設置される多種の包装機械について、目的・用途・機能を解説し、メンテナンス・運転操作のポイント・包材特性と機械の適性などを講義する。
	11.00~12.20	⑧<工場内マテハンライン>	田摩豊秋	工場内での生産・包装ラインに設備される各種マテハン装置について、機能・役割・メンテナンスのポイントを解説する。
	13.30~14.50	⑨<フィルム包装と包装機械>	宮本 剛	食品包装など多くの包装ラインで使用される各種フィルム包装機について、目的・用途・機能を解説し、メンテナンス・運転操作のポイントを講義する。
	15.00~15.30	講師との意見交換	出席講師	参加者の問題提起を受けた意見交換
	15.40~16.40	協会定例会		自由参加
23.12.6(火)		テーマ：包装ラインと品質管理		液体容器包装ラインの管理と、コスト削減、顧客の社会的評価を高めるISO規格について、その内容を学習します。
	11.00~12.20	⑩<包装ラインの管理>	牧野隆男	現在の食品包装の先端をゆく液体包装について、包装ライン・機械設備など管理技術を中心に解説する。
	13.30~14.50	⑪<品質・環境ISO>	亀岡孝三郎	コスト削減のための品質ISO、顧客の評価を高める環境ISOについて、規格の内容、導入メリット、認証取得方法を解説します。
	15.00~15.30	講師との意見交換	出席講師	参加者の問題提起を受けた意見交換
	15.40~16.40	協会定例会		自由参加

*1)タイトル・テーマについては、多少の変更を含みます。

*2)講義内容については、多少の変更を含みます。